

2023年8月発行

CWS JAPAN NEWSLETTER NO. 83

いつもCWS Japanの活動に温かいご支援、
ご理解をいただき、ありがとうございます

世界人道デー(8/19) に沿えて

8月19日は「世界人道デー(World Humanitarian Day)」です。

ご存じの方も、そうでない方もいらっしゃると思いますが、20年前の8月19日にイラクの国連事務所が攻撃され、22名の人道支援関係者が犠牲になり、100名以上が負傷するという痛ましい事件が起きました。困難な現場で人道支援に関わる人々に思いを寄せるとして、世界人道デーが国連総会にて制定されました。

世界中で最も困難な状況に直面し、また助けを必要としている状況にある人々を救うことに時間と命を捧げてきた人々に特別な敬意と感謝を表し、人道支援の精神を讃える機会でもあるこの日ですが、CWS Japanの文脈で言うと、この日は一緒に支援活動を推進してくれているすべての仲間たちへ感謝を示す日でもあります。

アフガニスタン、パキスタン、インド、フィリピン、ミャンマー、タイ、ベトナム、インドネシア、そして日本国内において、困難な状況下のなかで希望を見出そうと日々頑張っている仲間たちがいます。CWS Japanが行うすべてのことは、その仲間たちとの協働があっはじめて成立するものです。

東日本大震災や西日本豪雨をはじめ、頻発する台風・豪雨災害に毎年のように日本も直面しています。今年も大きな台風が幾度となく

BIG ANOUNCEMENT!

9月20日(水) 12:00-13:00
オンラインイベント開催

企業とNGOの連携方法とは
～防災力向上支援の事例から～
【詳細】

申込は [▶こちら◀](#)



写真
ミャンマーの現場から
©CWS

発生し、大きな被害をもたらしました。被災現場には、被災状況があるだけでなく、その苦難を乗り越えようと頑張っている人たちがいます。



写真
アフガニスタンの支援現場から
©CWS

CWS Japanはそんな人々の力を信じて、微力ではありますが、それぞれの復興の旅路においてご協力させていただきたい、そう思っています。世界が明日、より安全で安心な社会になりますように。

仲間たちに感謝して、この日を迎えたいと思います。

(文：事務局長 小美野 剛)

※本記事は8/18に公開されたものです。

学生の声—大学生企画『日本の七夕を知ろう』を終えて

7月5日(水)に、コミュニティ・カフェ@大久保で開催しました大学生企画『日本の七夕を知ろう』について、企画した学生の声やイベントの様子をお届けしたいと思います。

企画の趣旨

このイベントは、わたしをはじめとする学生有志が集まり、コミュニティ・カフェ@大久保をさらに多くの人に知っていただくため、大久保地区（主に早稲田大学）の留学生をタ

ーゲットに企画しました。ちょうど7月7日の直前のイベントということで「七夕」を通して日本文化を体験していただくそんなイベントを目指しました。残念ながらイベント当日の参加者は多いとは言えませんでした。日本の「七夕」という文化について参加者の方と深く交流することができたイベントになりました。

にほん だなぼた
日本の七夕
を知ろう!
7月5日(水)
第1部 13:30-15:00
・七夕かざりと短冊を作ろう!
第2部 15:30-17:00
・七夕の俳句を作ろう!
当日の流れ:
・アイスブレイクゲーム
・プラネタリウム・夏の星座と七夕
・第1部/第2部のイベント
※参加費無料、事前予約不要
※日本語でのご案内
七夕は織姫と彦星が年に一度天の川で会うことができるという昔話にもとづいた、7月7日におこなわれる日本の年中行事の一つです。
7月7日の夜には願いごとを書いた短冊や七夕かざりを笹の葉にかざり、星にお祈りします。来る7月7日に向けて、私たちと一緒に七夕の準備をしませんか?
募集対象:こんな人にぜひ!!
・日本の文化を知りたい!
・日本語の練習がしたい!
・星や星座に興味がある!
・留学生の友達を作りたい!
主催:コミュニティ・カフェ@大久保
場所:コミュニティ・カフェ@大久保(日本福音ルーテル教会1F)
<https://goo.gl/maps/ctNLIxQ7A4sBDYE7>
アクセス:山手線新大久保(しんおおくぼ)駅から徒歩15分
問い合わせ:メールcommunitycafe2023waseda@gmail.com
Instagram @commucaf2023
Twitter @commucaf2023

写真
当日のチラシ

学生メンバーの感想

以下は、企画した学生のイベントで担当したパートや感想です。

※以下、五十音順、敬称略

秋山 空南(あきやま そな)さん
(早稲田大学国際教養学部)

【担当パート】

わたしは留学生などの参加者がより日本の文化への理解が少しでも深められたらなと俳句について紹介し、夏の俳句と一緒に作りました。松岡芭蕉をはじめ、正岡子規や小林一茶などの俳人が作った夏の俳句にも触れ、日本の風情をわかりやすく説明することを意識しました。

【感想】

俳句はもともと好きなので、俳句の趣深さや楽しさを参加者と味わうことができ嬉しかったです。他の参加者が作った俳句には各々の主観が入っているので、鑑賞を通して、新たな視点を知ることができて、刺激的でした。



写真

イベントで作った俳句たち
©CWS Japan



写真

参加者と一緒に笹につける飾りを
作中中！ ©CWS Japan

細原 千聖（ほそはら ちさと）さん （早稲田大学教育学部）

【担当パート】

七夕の物語や七夕に関する日本での行事の説明をしました。パワーポイントを活用し、絵本を見て物語を聞くような雰囲気になるよう気を配りました。イベントではわたしにとって意外な箇所で盛り上がり、そのライブ感が印象的でした。

【感想】

七夕に着目したのですが、折り紙や俳句、星座の解説などのアクティビティで参加者と会話をしながらイベントを進めることができました。あまり話したことがない方たちともいつの間にか打ち解けて、このような緩やかなつながりがこのカフェの鍵になるのかなと感じました。他方で、イベントを知ってもらい、参加してもらうことの難しさを実感した1日でもありました。

田中 千尋（たなか ちひろ）さん （早稲田大学文化構想学部）

【担当パート】

七夕飾りのデモンストレーション

【感想】

イベントを告知して集客するのが難しかったです。日本の行事を体験できる機会になったのは良かったと思います。

鐘 采禎（チョン サイチェン）さん （立教大学キリスト教学研究科）

【担当パート】

七夕イベントの飾りと短冊

【感想】

イベントを通じて日本の七夕に関わる文化の勉強になりました。ちょっと惜しいと思ったのはイベントの準備から宣伝までの時間が短くて、参加者を集めることが難しかったことです。それでも楽しい一日でした！

三国 萌恵（みくに もえ）さん （早稲田大学国際教養学部）

【担当パート】

わたしは、自宅にあったホームプラネタリウムを使用して、夏の星座やそれにまつわる物語について簡単に紹介しました。七夕ということで、織姫星「ベガ」や彦星「アルタイル」、その二つが含まれる「夏の大三角」などを参加者と一緒に探しました。

【感想】

もともと星空を見るのが好きであり、その楽しさを参加者の皆さまと共有することができて嬉しかったです。途中、英語で星座を解説することもあり、単語が分からずに参加者の方から教えていただくような場面もあり、わたしにとっても学びとなるイベントでした。



写真

参加者と一緒に星座を探しました！

今後も、今回のイベント反省を踏まえ、コミュニティ・カフェ@大久保をより多くの皆さまが集える場所にしていけるように頑張ります！！

読んでくださりありがとうございました。

(文：インターン 三国萌恵)

学問の場から実践の場へ

皆さんはじめまして。今年の6月からCWS Japanに入職しました浜田由美子（はまだゆみこ）と申します。海と山に囲まれた風光明媚な街、神戸からリモートワークしております。

わたしはこれまで、警察官、防災や災害看護が研究分野である大学教授の研究室秘書とい

う異なる領域で経験を積んでまいりました。日本は自然災害に見舞われやすい国であり、わたしも小学校の避難訓練や自治会での防災活動を通じて、身近に災害のリスクを感じる機会が多かったのですが、2年前に引っ越してきた現在の居住地では、災害が発生した際どの避難経路を通過してどの避難所に行けばよいのかといった基本的な知識すら乏しい状況です。

この度、防災と人道支援を主な目的とするCWS Japanの理念に共感し、一員として働く機会が得られました。防災や人道支援の専門的な知識と経験を持つ専門家のいる環境で、改めて防災・災害救援活動について深く考え、学んでいきたいと思っています。

災害に備えるための具体的なスキルや知識を身に付けることはもちろんですが、同時に防災意識を育み、日常生活のなかでの防災対策の重要性を広めることがわたしの目標です。

そのためには何事も「自分ごと」として捉え、真摯に取り組む姿勢を持って臨み、より安全で持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

(文：プロジェクト・オフィサー
浜田 由美子)



浜田由美子さん
明石海峡大橋を背景に

小さな気づきが軸に

みなさんこんにちは！CWS Japanの一員となりました清川絵夢(きよかわえむ)と申します。7月よりアドミン・ファイナンスオフィサーとしてバックオフィス業務を担当いたします。

前職はNGOで少数民族の教育支援プロジェクトなどを担当し、その後メキシコへ留学しておりました。まだまだわたしが知っている世界は狭く小さなものですが、様々な地へ足を運んだことで文化のグラデーションを垣間見た機会が多くありました。

違う民族同士でも、通ずる文化や慣習があり、遠く離れた土地でも同じものを食べているのを目の当たりにしたとき、ふと自分自身が「世界のグラデーション」の一部であることに気づかされます。このような気づきや経験が血肉となり、“We have more in common with the world than we think.”(わたしたちが思っているより、人は世界とつながっている)という考えが自分自身の軸となっています。

CWS Japanが掲げる「たった一人のためにも、世界をつなげたい」、その想いに勝手ながら何か通ずるものを感じています。国を超え遠く離れている人に対しても、教室の隣の席で困っている友人にそっと手を差し伸べるのと同じ気持ちで、社会と関わっていくのがわたしの目標です。

日々の活動では常に迅速かつ正確な判断が必要とされます。その土台となる管理業務を通じ、今まで以上に透明性が高く、みなさまに信頼していただけるようなサポートができるよう尽力いたします。どうぞよろしく願いいたします。

(文：アドミン・ファイナンスオフィサー
清川 絵夢)



清川絵夢さん
大好きなタイにて

過去のニュースレターやインタビュー記事は
下記よりアクセス頂けます。

過去のニュースレターは[こちら](#)



インタビュー記事は[こちら](#)



紅邑晶子様 | 一般社団法人SDGsとうほく
代表理事



上島 安裕様 | 一般社団法人ピースボート
災害支援センター(PBV) 理事/事務局長

ご高覧頂き有難うございます。次回のニュースレターは9月末の発行を予定しています。

特定非営利活動法人CWSJapan
〒169-0051
東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館25号室

メールアドレス：
public@cwsjapan.jp
電話：
03-6457-6840



CWSJapan



@Japan_CWS



cws_japan